

座談会

平成3年12月15日(日)於茂木宅。出席者下記の通り。

笹岡 和彦(昭和51年卒)

茂木 百合(旧姓中村・昭和55年卒)

粕谷 淳二(昭和56年卒)

鎌田 喜久(昭和56年卒)

戸崎 隆(昭和57年卒)

司会/進行：茂木 秀之(昭和52年卒)



1991年12月15日 座談会

茂木(秀) 本日は、大変お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。創部50周年記念誌の編集にあたりまして皆様方に、現役当時の思い出を語っていただきたいと思っています。

では、はじめに練習についてのお話を本日出席者の中で最年長の笹岡さんをお願いしたいと思いますので宜しくお願い致します。笹岡 自分の代は、1つ上に桑野さん、1つ下に梶田、茂木、玉利、清水、その下に宮崎、柳本等がいて、慶早戦には出場したが、リーグ戦にはあまり出場できなかった。

自分が主将になった時は、ゲームでは負けるからトレーニングでは負けられないようにと思って、ランニング等トレーニングを中心に練習をやった。

茂木(秀) 笹岡さんが主将のときは、良く走り、良くトレーニングをやりましたね。

そのトレーニングのお蔭で我々の代やその下の代の基礎体力がよかったと思います。

その次の主将が我々の代の梶田で、笹岡さんとは正反対であまりトレーニングはやらなかった。(笑)

笹岡 その前年は、トレーニング中心だった

ので、そればかりやっても強くならないし実戦的な練習ができて良かったのではないかな。

又、その次の主将になった宮崎がトレーニング中心の練習していたね。

粕谷 宮崎さんが主将の時は、本当に良く走りました。走るコースも下田コース鶴見川コース等色々走った記憶があります。

茂木(秀) 我々の時のランニングコースは、下田、綱島、玉川コースがあった。

戸崎 当時は、同じコースを走ると辛さも増して来るので、又ランネリにならないように色々なコースを考え出して走っていたように思います。

粕谷 まむし谷にあるクロスカントリーのコースも良く走りましたね。

茂木(百) クロスカントリーのコースの途中に長い階段がありうさぎ飛びを良くやりました。

粕谷 体育会の各部対抗のクロスカントリーのレースで、宮崎さん、森下さん、八森さん等が出場し、当部が総合で優勝した事がありました。

笹岡 そういえば、日吉—三田間の体育会卒

業でラソンがあつて出場した事があつた。

粕谷 我々同期も出場し、藤田が第5位に入賞した。

茂木(秀) あの藤田が?すごいね。我々の同期は出場しなかつたかも知れない。

笹岡 顔ぶれを見るとそうかも知れないね。

(大笑)

うちの部はメチャクチャ強い選手が入つてくることもあまりないから、他大学の強い選手に対抗するためには、ある程度トレーニングをして基礎体力をつけておかないとむずかしいからね。そういえば梶田は1回も「けんすい」ができなかつた。

戸崎 それは有名な話ですな。(大笑)

茂木(秀) でも、梶田のスワッシュは速かつたですよ。

笹岡 宮崎、橋本は身体がものすごく堅かつた。又橋本は腕立ても腹筋も1回もできなかつた。

茂木(百) 橋本さんもスワッシュが速かつた。シヤトルが良くこわれました。

茂木(秀) 強かつた人も色々不得意なものがあつたんですね。でもそれを努力したから強かつたんだと思う。

鎌田 我々の時もトレーニングが多かつたし、部の人数も多かつたので、コートに入れた時はとてもうれしかつたし、充実していた。

又、練習が終わつた後の自主トレーニングも良くやりました。しかし、我々の代は、飛び抜けて強い選手がいたわけでもないし、特に試合でも競つた時はとても弱かつた。

笹岡 それは、当部の伝統かな。(大笑い)

茂木(秀) 我々の時は、早稲田、青学、法政、東大、千葉大等他大学に良く練習に行つた。

笹岡 高校の友人等の関係があつたことで交流ができたのだと思う。

戸崎 我々の代はあまり他の大学には行かなかつたけれども、下の代になつて筑波大等に行つていました。

粕谷 馬場とかいたからね。

戸崎 小柳もいて外に出ていくのが好きだったからね。

茂木(秀) 練習は部内だけでやつていても、他流試合をやらないと本当に強くはなれないですね。

我々の時は、当時カワサキラケットに勤務されていた平井先輩の協力で、全日本チャンピオンの小島さん、銭谷さん、そして、関東リーグ1部の中央大学のレギュラーを記念館に連れてきて下さり練習してもらつた。その練習が、大変有意義だつたと思う。

笹岡 OBにそういう人がいてもらえると現役に大変役立つね。

粕谷 サントリーの宮崎さん、森下さんが大阪から上京された時はとても役に立つたと思います。

茂木(秀) そろそろ練習の中でも合宿の思い出についてテーマを変えたいと思います。

笹岡 1番印象に残っているのは、2：1の何面回しだね。

全員 やりましたね。(笑)

茂木(秀) 1年生の大吉の合宿で30分8面回しをしたことがあつた。

粕谷 甲府の合宿でもコートが8面あつて8面回しをやつたが、そのまま終らず9面目があつて、ゲームを行ない1定のポイントがとれるまでやつた。

茂木(百) ずっとこれまで続いてきた練習だったのでですね。コートによってはオールショットやオールロングをやつた。

茂木(秀) これは1年生の恒例だつたと思います。

笹岡 でも上級生もやったことがあった。

全員 つかかった。

笹岡 玉利はコートサイドにあったバケツに頭を入れて水を飲んでいった。

茂木(秀) 当時、水は絶対飲んではいけなかったんですね。

笹岡 今とは違うね。

戸崎 サントリリーで合宿をした時、サントリリーの選手がスポーツドリンクを飲んでいて、その選手がスポーツドリンクを飲んでいるのを見て備え付けのスポーツドリンクを用意するようになった。

鎌田 当時はそうでなかったのですがコートサイドのバケツで顔を洗ったふりをして皆が顔を引っ掻いて「キタナイ」のを知りつつ水を飲んだことがあった。(笑)

笹岡 暑くても窓を開けられなかったからね。

鎌田 藤田は、汗かきだったからぐつをぐじゅぐじゅにしてやっていたね。

茂木(秀) 玉利もそうだった。玉利の入ったあとはコートをもッパでふかないと、恐かったね。

笹岡 コーチをしていたころ、小松の合宿の最終日、急性アルコール中毒になったのがいた。

茂木(百) 斎藤君だったと思います。

鎌田 最終日の打ち上げはメチャクチャで、1年生にはビールの割当があつて、確か100本だったと思う。

全員 100本？

鎌田 人数は10人位だったから1人10本位飲んだことになる。

粕谷 その合宿の打ち上げの後、「ふとんむし」もやった。その時、柳本さんと、森下さんが「肋骨」を折った事件もあった。

鎌田 1年生が多かったので、合宿で苦しか



1976年(昭和51年)
夏合宿(更埴)

った事を、団結して上級生にぶつけたのだと思います。(笑)

茂木(秀) 長野の更埴の合宿でも「ふとんむし」をやった。当時コーチで来ていた鈴木英夫さんをやったらメチャクチャおこったね。戸崎 当時自分は高校生だったけれどもその合宿に参加していて、「ふとんむし」のあと皆が鈴木さんの部屋に呼び出されていたが、自分も呼び出されて、おこられた。

茂木(秀) でも鈴木さんは良く練習や合宿に来ていただいた貴重な人だった。

笹岡 当時、鈴木さんは日吉に住んでいて練習に参加するために日吉に住んでいたのではないかとOBに言われていた。

茂木(秀) それで、鈴木さんのアタ名が「キヌギさん」と呼ばれていたんですね。

笹岡 韓国に遠征したことがあったね。

茂木(秀) そうですね。我々が4年生の時、遠征して韓国のナシヨナルチームと対戦して4対1で勝った。第1ダブルスが梶田・宮崎で勝ち、第2ダブルスは玉利・清水で接戦の末勝ち、第1シングルが私茂木で、あまり調子が良くなかったけれども勝った。第2シングルは梶田だったけれども、フルセットの末敗れてしまった。第3シングルは宮崎が危な



1976年（昭和51年）
韓国遠征

げなく勝った。

笹岡 現在は、韓国は世界でもトップクラスのレベルなので今じゃとても考えられないね。（笑）

茂木（秀） 実は韓国遠征が実現できたのは、理由があるんですよ。

遠征する2年前の1月に、韓国のナショナルチームが来日していて、練習会場に困っていたところ、平井先輩の関係で、記念館が会場となったことがあり、その時部はオフシーズンだったけれども部員全員練習になった。それで試合をしたが、10試合行なって全敗してしまっただけですね。皆本当に、悔しくて、どうしても、シーズン中に再戦したくて平井先輩やOBの方々に、申し入れた経緯があったんです。ただ、もう1つ別の理由もあったけれどもね。（大笑）翌年は実現できなかったけれど、我々の熱意が伝わり2年後にやっと実現した。

遠征の際の試合以外の色々な出来事もあったけれど、支障のある人もあるので次の機会にしよう。（大笑）

茂木（秀） 試合となると何といっても慶早戦があげられますね。

戸崎 夏の合宿は慶早戦を目標としてやって

いたので、苦しかったけれども自分も慶早戦に出たかったから頑張った。特にトヨタの合宿では、夜遅くまでやった思い出がある。

鎌田 1日が長かったね。

笹岡 自分の代は、15対0で負けて悔しかった。

鎌田 慶早戦はイベントでしたね。1年生の時は出場できなかったけれども盛り上げていかなくては思っていた。皆ピリピリしていた。10人の中に入らないと出場できなかったからね。

茂木（百） 練習しているでも線審するのがとても恐かった。1度どなられたこともありました。

粕谷 私は3年生でやっと出場できたが、4年生の時、ケガをして出場できなくて応援の思い出の方が多かったと思います。

戸崎 1年生からずっと出場していたが、シングルは1度も勝てなかった。当時の早稲田はとても強かった。

鎌田 早稲田は人数も多かったしね。

茂木（秀） 早稲田は教育学部があるから強い選手が入りやすいこともあったと思います。私も慶早戦はとても緊張しました。我々の代も勝てるのではないかと思っていたが勝てな



1974年（昭和49年）1月
韓国ナショナルチーム来塾

くて辛かった。

笹岡 宮崎の代の時、やっと13年ぶりに勝つことができた。

茂木(秀) この時柳本が良く頑張ったと思いますよ。ヘラヘラしていたけれども重要な時は強かった。(笑)

茂木(百) 女子は早稲田が1部についてとても強かった。シングルでは1年生から3年まで勝つことができなかったけれども、もう少し慶応も人数がいれば良かったと思っています。

茂木(秀) リーグ戦の思い出としては、1年生の春に試合に出られなくて、せめて応援だけでも頑張ろうと、前日の夜遅くまで応援の練習をしたことがあった。会場が板橋の体育館が多かったので梶田の家によく泊ってもらった。

笹岡 試合の思い出としては、北海道であった東日本の時、宮崎と組んだダブルスでベスト8に入った事が1番と思う。遠隔地でやる場合は、1部の選手の中にはエントリーな人もいたので大変ラッキーだった。

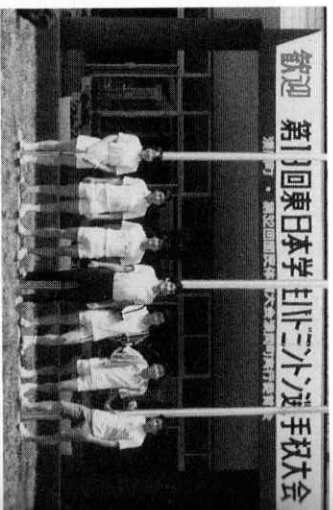
茂木(秀) 私も青森の東日本で、シングルでベスト8に入ったことがあった。梶田も同じベスト8に入ったが、次の試合で全身けいれんでキケンしてしまった。

鎌田 橋本さんもベスト4に入ったことがあったと思います。

粕谷 宮崎さんは4年生のときインカレでベスト8に入りオールジャパンに出場していた。久々のオールジャパンの出場でしたね。

笹岡 宮崎はネチャッコク最後は体力勝負に持ち込むスタイルだった。良くトレーニングをしていたから体力に自信がなくてはできないと思いますね。

茂木(秀) 話はずきないと思いますが、皆さ



1976年(昭和51年)
東日本学生選手権(浪岡)

んも色々な思い出があり、私も何か現役に返ったような気分になりました。

今、現役は3部に落ちてしまい大変残念ではありますが、この座談会が少しでも現役の皆さんに参考になれば幸いです。これからも部の発展のために、再度、ご協力をお願い致します。この座談会を終らせたいと思います。本日は本当にお忙しいところありがとうございました。